



2022年度もうひとつのおうち自己評価表

	チェック項目	取り組み状況
環境 体制 整備	お子さまがのびのびと過ごせる広さのお部屋を確保しているか	7人クラスに4～6人のせんせいで対応。言語聴覚士、作業療法士、公認心理師、保育士などお子さまの発達についての専門知識と経験を有するせんせいがチームでレッスンを提供しております。お子さまたちが過ごすお部屋にはカメラが設置してあり、2階ファミリールームにてモニターを通してレッスンの様子をご覧になる事ができます。玄関にはモニターつきインターホンとダブルロックキーを取り付け、階段には転落防止のためのドアを設置するなどお子さまもご家族も安心して過ごせるように工夫しています。また温度計・湿度計での部屋の適温チェック、清掃・消毒の実施場所や時間帯をルーティーン化することで、お子さまがいつも快適に過ごせるよう配慮しています。定期的な換気や手指消毒の実施に加え、せんせいはレッスン毎に不織布マスクとエプロンを取り替え、清潔な状態でレッスンを提供できるよう心掛けています。プレスクールのお弁当時にはアクリルパーテーションを使用し、感染症予防を行っています。感染症予防への意識を持てるよう、全員のせんせいが月に1度チェックリストを記入し、日々の行動を振り返る機会を作っています。
	せんせいの人数や専門性はお子さまの育ちを促すために十分であるか	
	1対1の対応が必要なお子さまのために十分な数のせんせいがいるか	
	お子さまひとりひとりの育ちに応じた環境調整が充分に行われているか	
	お子さまが安全に過ごせるようお部屋の中の安全対策を行っているか	
	お子さまの健康が保たれるようお部屋の中の衛生管理を行っているか	
業 務 改 善	お子さまが最大限成長できるよう、適切な目標設定と振り返りをしているか	朝の打ち合わせではお子様の姿や関わる上での指導員の目標を共有し、活動後の振り返りでは達成度やお子さまのためにできる事を話し合いながら、毎日、連続性のあるレッスンを心がけています。ご家族へ共有するサービス提供記録には、その日の具体的な目標や次に頑張りたい事を記載し、ご家庭でも取り組めるアイデアをまとめてお伝えしています。プレスクールでは6ヶ月毎、就園後は1年毎に標準化されたアセスメントを行い、個別支援計画を作成。アセスメント結果は第三者の研究者の方に効果検証を依頼し、その結果に基づいた定期的な研修を実施。ご家族には週に1度、お子さまの成長記録をメールにてご提出いただき、レッスンの中でどのように向き合うか参考にしています。ご家族へのアンケート調査は年1回実施しております。
	ご家族を対象としたアンケート調査を実施し、サービスに活かしているか	
	自己評価の結果をHPなどで公開しているか	
	第三者の方に評価をお願いし、サービス向上に繋げているか	
	せんせいの専門性の向上のために、研修の機会を確保しているか	
レッスンの質を向上させるためのスーパーヴィジョンの仕組みがあるか		
適切な	お子さまの育ちについての評価を適切に行い、お子さまやご家族のニーズや課題を分析した上で、レッスンについての計画書を作成しているか	Vineland-II適応行動尺度を中心に新版K式発達検査、田中ビネー知能検査V、WISC-V知能検査などの検査を定期的実施している他、フィードバックや成長記録を参考に日々プログラム内容を更新していま

	<p>お子さまの育ちの経過を把握するため継続的に統一の評価ツールを用いているか</p> <p>お子さまの育ちに合わせたプログラムになるよう、チームで検討しているか</p> <p>お子さまが楽しめるような工夫を凝らし、選択する機会を設けているか</p> <p>お子さまに合わせた、きめ細やかな課題設定をするよう心がけているか</p> <p>お子さまに応じてご家庭や生活環境に合ったプランを提供しているか</p> <p>レッスン前にせんせい同士で打ち合わせて、役割を明確にしているか</p> <p>レッスン終了後に全体で振り返り、一日の様子について共有しているか</p> <p>レッスンの記録を必ず残し、プランの検証、改善に努めているか</p>
<p>ご家族への説明責任</p>	<p>運営規定、レッスン内容、料金について丁寧に説明し、個人情報に注意しているか</p> <p>子育てについての相談に応じ、協力して対応を考え、実践しているか</p> <p>ご家族同士の仲を深めたり、情報をご紹介したりする仕組みがあるか</p> <p>レッスンの様子をお知らせし、ご家族と意思伝達をする手ための手段があるか</p> <p>ご家族からの苦情に対応する体制があり、丁寧な対応ができていますか</p>
<p>非常時の対応</p>	<p>リスク管理、衛生管理、災害時対応についてマニュアルを策定し、周知しているか</p> <p>虐待防止等お子さまの育ちを保障するための研修機会を作っているか</p> <p>災害の発生に備え、定期的に避難訓練を実施しているか</p> <p>お子さまの気持ちが崩れた時、必要な対応をご家族と話し合っているか</p> <p>ヒヤリハットは記録し、改善策を検討した報告書を保管、共有しているか</p>

す。お子さまに信頼されるせんせいであることを第一に、お子さまの考えを理解し、気持ちに共感することを大切にしています。お子さまが自ら学び取れるように声かけや環境設定に工夫を凝らし、生活の流れの中に一人ひとりの課題を織り込んでいます。また週に1度の工作日では、季節の行事や日本の文化に触れられる機会を。月に1度の音楽療法ではリズムや音楽を通して自己表現する時間を大事にしています。1年間同じお友だちと過ごし、「お友だちとなら頑張る!」「お友だちに負けたくない!」「お友だちの役に立ちたい!」など環境に依存しない内的動機づけのシステムを獲得する機会を提供しています。せんせい全員が同じ方向性でお子様に関われるよう定期的にお子さまの姿や対応、プログラムについて検討する会議を開いています。レッスン内容は、口頭でのフィードバックに加え、専用サイトにてサービス提供記録を共有し、ご家族からコメントを頂いています。レッスン中には、代表深野が必要に応じてご家族へのコンサルテーションやペアレントトレーニングを実施しております。

公費事業の利用が初めての方もいらっしゃるため、ご契約時に、運営規定、レッスン内容、料金について丁寧に確認しております。コロナウィルス感染症予防の観点から、例年に比べファミリールームのご利用やレッスン後の対面でのフィードバックをご希望されないご家族もいらっしゃったため、サービス提供記録にてレッスンのご様子などを丁寧にお伝えしています。個人情報保護にはできる限り注意をいたしますが、他の方と会いたくないというご家族には向いていない設定かと思えます。

ヒヤリハット事例は毎日の振り返りにて確認し、記録しスタッフ全員で共有します。非常時対応はマニュアルを作成、定期的に避難訓練を実施。虐待防止委員会を設置し、せんせい全員に向けた虐待防止研修を行っています。レッスンの中での出来事を振り返りながら、お子さまへの関わり方を客観的に考えられる機会を大事にしています。コロナ禍でも継続的なサービスを受けて頂けるよう、ご希望のある方にはオンラインでのレッスンを提供しています。お子さまの気持ちが崩れた時には、お子さまの立場から理由を考え、共感の言葉をかけます。更に見通しが立つよう次の活動について伝え、機能的なコミュニケーションに繋がるよう働きかけています。

